



《学校教育目標》豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

「大きい！おいしそう！」今年もたくさんとれました サツマイモの収穫【令和4年9月28日】

一年前にサツマイモを収穫した日は、9月28日だったので、今年と全く同じ日ということになります。しかしながら大きく異なるのは、昨年は緊急事態宣言下だったということです。よって、異学年交流を控えていたため、学年ごとの収穫としたので、相和っ子班活動を盛んに行う本校としては、少し寂しかったことを思い出します(サツマイモはたくさん収穫できたのですが…)。

そして今年になり、うれしいことに全員がそろって収穫することができました。丁寧に掘り方を教える高学年の子供たちがいました。自慢気に、「こんなに大きいおもがとれました！」と報告してくれて、うれしそうなお顔をみせてくれる子供たちもいました。これまでにいもほりの経験があり、初めてという子はなかったのかもしれませんが、この顔ぶれで行ういもほりは、これが最初で最後です。そう考えると、感慨深いものです。

さて、これまでは収穫したいもを「収穫祭」という行事で焼きいもにし、その場で食べたりお土産に持ち帰ったりしていましたが、今年度から、旧相和祭(元運動会)とコラボして、同日開催としました。すでに、文書で各家庭にお知らせ済みですが、当日は、多くの保護者の方々にお越しいただき楽しんでいただければ幸いです。



全校そろって満足の笑顔！ 写っているいもは、ほんの一部です！



「子育てアラカルト⑬ ～人権教育『生きる』『幸せ』『自由』～」

10月7日の前期終業式と10月11日の後期始業式は、間が短いこともあり、2つの儀式的行事をセットと考え、校長講話を行いました。内容については少し悩みましたが、今回のテーマは「人権」にしようと思いました。今年度の学校グランドデザインにも新たに加えた言葉でもあります。

県教育委員会に勤務していた時、2年間にわたり、人権教育の担当をする機会をいただきました。当初、人権教育についての知識が不足していた私は、多くの研修の場を得て、本当にたくさんの学びがありました。その中でも、現時点ではマイノリティである場合が多い当事者の方々の話を直接聴く機会は、今でも財産になっています。

さて、人権の基本は「生きていたい」「幸せでいたい」「自由でいたい」の3点と言われます。この中でも児童会テーマのサブタイトルに「みんなも幸せ 自分も幸せ」とあるので、終業式・始業式では幸福追求権について取り上げました。「自分が幸せになることを第一に考えると、人の不幸せを気にしなくなってしまう。だから、自分が幸せになることを考えるよりも、誰かを幸せにするために何ができる自分かを考えよう。」と伝えました。よくよく考えると、児童会テーマは「みんな」が先で「自分」が後に来ている。ここにも大きな意味があるのではないのでしょうか。昇降口に、誰かを幸せにするために、自分は何をしていくかを宣言したものを掲示しています。しばらく掲示しておきますので、ぜひご覧ください。

寄贈本を紹介します

～蔵書がさらに増えました～

改修工事により、これまで以上に2階の図書室がきれいになったところですが、学校司書さんのおかげで部屋のレイアウトも工夫され、さらにすてきで使いやすい場所になりました。

そのような中、ありがたいことに町教育委員の方から本の寄贈を受け、子供たちがとても喜んでいます。本当にありがとうございました。

今年は、図書館教育の担当教諭が、学校司書と連携し、児童の読書活動がより推進されるよう様々なアイデアを提案し、昨年度以上に本が身近なものになっています。学校独自の読書ウィークの設定や長昼休みの図書室の活用が成果として見られました。

近年は電子書籍もますます日常化してきましたが、学校では、紙に印刷・製本されたものを大切に、活用していきたいと思っています。



学校の「ここが変わった」シリーズ

～「ほっとすルーム」～

今年は養護教諭がかわり、保健室も改修されました。工事に入る前の7月に、養護教諭に「子供たちが、先生に悩みや相談に来た時に、話しやすい環境をつくってみてはどうか？」と話をもち掛け、保健室のレイアウトを考えてもらいました。そして8月になり、保健室の一角に相談できるスペースが完成したのですが、名前をどうしようかということになりました。

「『相談室…』ちょっと固いなあ」などと悩んでいたところ、「ほっとすルーム」を提案されました。まさにほっと一息ついて、心と体の緊張をほぐす場になればいいなと思います。



一輪車を寄贈されました

～新たに10台が仲間入り～

本校は、朝の時間に体力づくりの時間を設定したり、伝統ともいえる竹馬や一輪車に積極的に挑戦したりしているところです。竹馬については、地域の方々のご支援をいただき、一人一人が「自分の竹馬」をもっているということは大きな特色です。

この度、日本宝くじ協会からお話をいただき、一輪車10台を寄贈していただきました。このところ、日頃からたくさん使っている本校の児童なので、何台かの一輪車に若干不具合が見られてきた次第です。とてもありがたく思います。

毎年恒例の「竹馬・一輪車検定」の日も確定しました。昨年度は、現2年生が1年生の時、溢れんばかりのチャレンジ精神を見ることができたことを思い出します。あきらめず練習をし続けた子が、一輪車に乗れるようになったり、竹馬の高難度の技ができる

ようになったりした姿を見て感動しました。

3年生がお礼の手紙を書いたので、別枠で紹介します。思いが伝わってくる素敵な文章です。



ヘチマを活用した「たわし」完成

～4年生ががんばって作りました～

先日、校長室に4年生がやってきて、ヘチマで作ったたわしが完成したので、その報告とヘチマたわしをプレゼントされました。

今年は、プールのフェンスを利用して育てたところ、例年以上に育ち、立派な実が数多くできました。その実を使って、じっくりたわしを作ったそうで、その作業の楽しさと大変さを伝えてくれました。

今年の4年生は、主体的な学びがたくさん見られ、よりたくましくなった感じがします。特に、総合的な学習の時間で取り組んでいる福祉教育から多くのことを得ている5人です。



子供たちの作文紹介「一輪車けんていにむけて」3年生

わたしは、一輪車が大好きです。とくに、友達と二人で手をつないでくるくるまわる「プロペラ」がおもしろくて好きです。

わたしがはじめて一輪車に乗ったのは、二年生のころです。はじめは、ころぶのがこわくて乗れなかったけど、たくさん練習して乗れるようになってからは、こわい気持ちよりたのしい気持ちの方が大きくなりました。

私の学校では、毎年一輪車けんていが行われています。一輪車けんていでは、「コーンジグザグ」と「アイドリング」というわざにチャレンジしたいです。

一輪車をプレゼントしてくれた宝くじ協会みなさん、すてきな一輪車をありがとうございます。もらった一輪車は、大切に使います。この一輪車で、一輪車けんていにのぞみたいと思います。(原文のまま)

日本宝くじ協会へのお礼の手紙 より